



学校だより 11月号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

泉区緑園五丁目28番

TEL (811) 6710

「伝統のバトン」を楽しみ、そしてつなげる

副校長 山下 謙一郎

学校の周りを見渡すと、木々の葉が赤や黄に衣替えをし始め、秋の深まりを感じます。一方で今年は大雨や台風、猛暑など、様々な自然災害による大きな被害が日本各地で発生する年でもありました。被災地の一日も早い復興を願うばかりです。自然の美しさとともに、畏怖を感じずにはいられない、今年の秋です。

さて、10月は全校なかよし遠足や緑園音楽祭といった全校での大きな行事で校内が盛り上がりました。1年生から6年生まで、それぞれの立場でめあてをもって取り組む姿に、緑園東小学校で培われてきた子どもたちの力を感じます。そして、この子どもたちの輝きの原動力となっているのは、最高学年である6年生の頑張りに他なりません。

全校遠足では、なかよし班のリーダーとしてたてわりグループを引っ張る姿が見られました。口で言うのは簡単ですが、これは相当大変なことです。わずか5年前まで1年生だった子が、リーダーとしてそのグループのすべてを任される。しかもできて当然、できなかつたら責任を感じずにはいられないという立場となるわけです。もちろん、担任の先生を始め、多くの先生たちのサポートはあるものの、このプレッシャーや責任はどれほど大きかったことでしょう。

また、緑園音楽祭では、最高学年としての合唱や合奏の質の高さが期待されました。当日の発表が見事だったことは言うまでもないですが、そこに至るまでの努力には目を見張るものがありました。私が職員室にいと、休み時間に音楽室で練習したいので鍵を貸していただけませんか、と聞いてくるのはきまって6年生でした。そこには、自分たちにとって最後の音楽祭を最高のものにしたいという、子どもたちの気迫を感じました。

一方で、こういった活動はいつも順風満帆に進んでいるわけではありません。長い活動中には、様々な壁が立ちはだかったり、トラブルが起きたりします。教師は、そのたびごとに適切な支援や助言を行い、子どもたちがリーダーとしてよりよい方向に進めるように全力でサポートをしてきました。大きな行事はただ楽しむだけでなく、子どもたちの成長段階において様々な力を培っていきける場だと私たちは考えています。一つ一つの行事を終えるごとに、6年生がさらに頼もしくなる姿こそ、教育の喜びと言ってもよいでしょう。

子どもたちにとって行事は楽しいものです。しかし、そこには緑園東小学校の代々のリーダーである6年生が積み重ねてきた工夫と努力があります。ぜひ、今年度の6年生にも行事を楽しむのと同時に、リーダーのバトンを次の6年生につないでくれると信じています。

